

経営比較分析表（令和5年度決算）

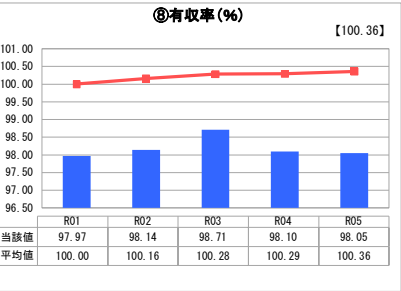
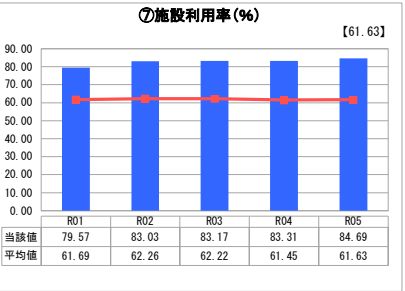
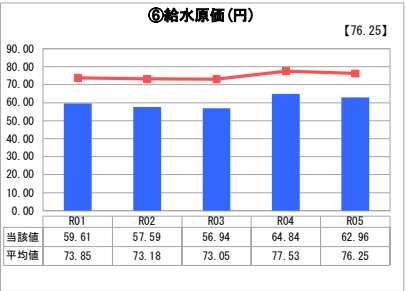
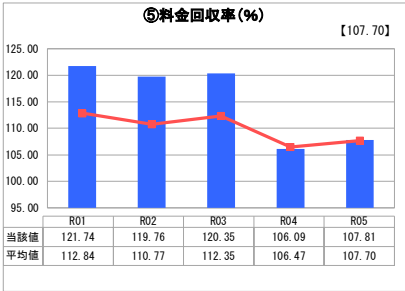
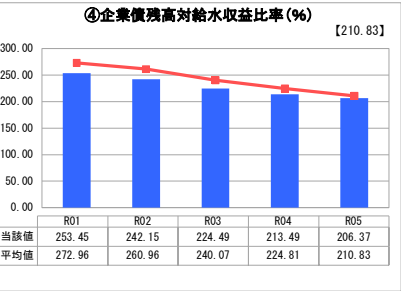
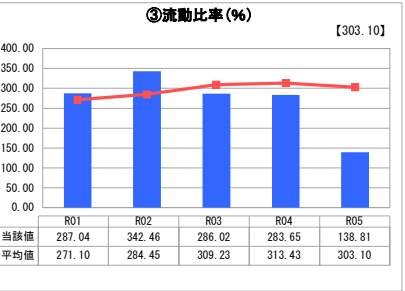
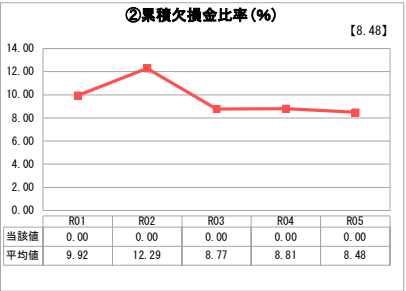
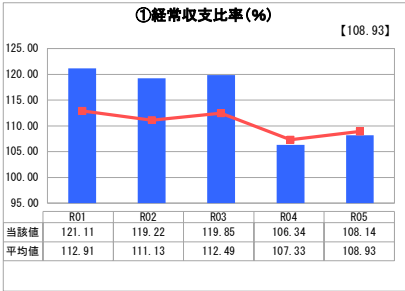
千葉県 北千葉広域水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	用水供給事業	B	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	77.08	91.38	0	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,370,212	920.64	4,746.93

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営状況に関する各指標については、諸物価の高騰により、令和4年度に引き続き厳しい状況であるものの全体的には順調に推移し、類似団体平均値との比較でも同等な水準にある。

- ・経常収支比率は、類似団体平均値を下回っているが、100%を上回っており、健全経営を維持している。
- ・累積欠損金比率は発生していない。また、流動比率は100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力を維持している。
- ・企業債残高対給水収益比率は減速傾向である。これは、発行済企業債の償還進捗に伴い、企業債残高が順次減少していることによる。
- ・料金回収率は、類似団体平均値及び事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100%を上回っている。
- ・給水原価は類似団体と比べて低廉となっている。
- ・施設利用率は類似団体平均値を上回っており、施設の効率的な運用を行っている。
- ・有収率は類似団体平均値を下回っているものの、引き続き高い水準を維持している。

2. 老朽化の状況について

企業団の施設整備については、平成12年度に創設事業が完了し、以降、更新基本計画に基づき、経年化設備の計画的な更新に努めている。
また、導・送水管路については、耐用年数を経過し順次更新時期を迎えていることから、中長期的にわたって計画的に更新していくこととしており、現在は導水管更新事業（R1～R6）を実施中である。

- ・有形固定資産減価償却率及び管路経年化率が類似団体平均値を上回っていることから、アセットマネジメントを踏まえた計画的な更新や長寿命化を念頭に置いて経年化施設の適切な保守管理に取り組むこととしている。

全体総括

企業団の経営状況については、各指標が概ね良好な水準で推移しており健全な状態にあるといえる。一方、管路等の基幹構造物の老朽化は進行しており、その更新が課題となっている。
引き続き、施設の長寿命化を図りつつ計画的な施設の更新を実施し、安全で安定した水道用水の供給に取り組むとともに、より一層、効率的な経営に努めることとしている。

2. 老朽化の状況

